

留学便り No. 6

ここ最近はアリゾナの冬の寒さを乗り越え、太陽の光が心地よい季節となってきました。二月の頭に留学開始から六ヶ月が経過しました。半分以上すぎ、残すところ5分の2となり、やっと慣れてきたところですが、少し寂しい気もします。

<精神面>

1月はいろんなことがあり、かなり精神的に疲れた月でした。特にホストファミリーとの関係性で悩みました。今まで何かあったらすぐに相談できていた両親とは物理的な距離があるため、すべて自分で解決しなければいけないという状況を目の当たりにしました。この一年間の留学は自分のものであり、日本に帰国後は留学の経験を糧にして今後の勉学や課外活動に取り組まなければなりません。自分の留学経験をどうしていくのかということに関して適切な選択を迫られ、私は環境を変えることを選択しました。正直不安しかありませんでしたが、環境を変えたことで、心機一転し、非常に快適に過ごせています。この経験から今までで、一度も話したこともない人たちと共同生活をするといったことの厳しさを学びました。私の特技は初めての人と距離を縮めることです。しかし、距離を短期間で縮めるには自分をさらけ出す必要があります。以前一緒に住んでいたホストファミリーとは短期間で距離を縮めてしまったが故に、適切な距離感がつかめず、かなり苦勞しました。環境適応能力は他人と距離を短期間で縮めることだと思っていましたが、実際には相手とのある程度の距離感を保ちながら環境に溶け込んでいくことであると気づきました。ホストファミリーという新しい環境の中で、培った環境適応能力はリーダーシップに応用できるため、この留学の中のホストファミリーと生活を共にするという経験は非常に重要であると感じました。

<文化面>

アメリカの中で、The アメリカ！を体験することができるのはどこでしょうか？正解はラスベガスです。（あくまで個人的な見解です）ラスベガスといえばカジノを思い浮かべるひとも多いと思いますが、ラスベガスで体験できることはカジノ以外にたくさんあります！今回は私がラスベガス旅行の中で最も印象に残ったものを4つ紹介します。

<ショー>

ラスベガスには世界から集まったトップレベルのパフォーマーが集うため、ショーが非常に人気です。なかでもシルクドソレイユというエンターテインメント団体が公演するショーが最も人気です。日本でも世界各国でもショーは行われていますが、ラスベガスでは常設公演を行っているためショーのレベルが高く、種類も豊富です。今回私は数ある中でも人気のあるO（オー）というショーを観ました。Oはフランス語で水という意味なので、水を使ったショーでした。ステージの床が可動式になっていて、ステージになり、プールになると

いうのを目の当たりにして目が点になりました。ショーの内容はストーリー性があるサーカスのパフォーマンスで非常に面白かったです。ラスベガスに行った際は必見です。



Oの劇場内にて



ショー自体は撮影が禁止されているため、公式ホームページからの引用

<フレモント・ストリート・エクスペリエンス>

アーケードのある商店街のようなところですが、世界中から様々なアーティストが集まり、路上でパフォーマンスをしたり、無料のライブステージがあったりとストリート全体がエ

ンターテインメントの町のようになっています。また、アーケードの天井はスクリーンになっていて、幻想的な映像が流れていて、非現実的な感覚に陥りました。真夜中になっても非常に明るいので、まさしく眠らない町ラスベガスといった感じでした。



<ベラジオの噴水ショー>

ベラジオというラスベガスの中でもひととき存在感が強い巨大なホテルの目の前に噴水があります。ベラジオはOのショーの特別劇場や、カジノ、高級レストランなどがあるラスベガスの中でも非常に有名なホテルの一つです。そのホテルの目の前にある噴水ショーは素晴らしいです。夜は15分に一回ショーがあり、水がライトアップされ、大量の水が勢いよく吹き上がる姿は圧巻でした。



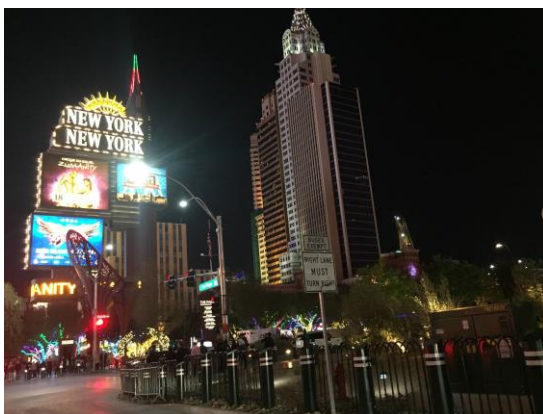
夜の噴水ショー



屋のベラジオ

<パリス>

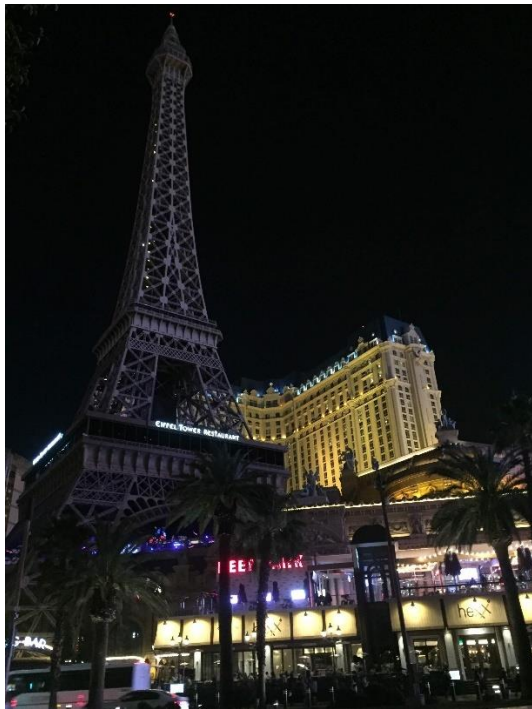
ラスベガスには世界の国々や都市をモチーフにした建造物やホテルがあります。ニューヨーク・ニューヨークというホテルではニューヨーク州をモチーフにし、自由の女神やニューヨークの建築物があります。ベラジオはヨーロッパの建造物をモチーフにしています。ルクソールというホテルではエジプトの世界観をもとにしており、ホテルの外観はピラミッドになっています。そして、パリといわれる建物は名前の通りパリの町をイメージしていて、建物の中がパリの町になっていて不思議な感覚に陥りました。外にはエッフェル塔があり、建物のあるエリア全体がパリの町になっています。



ニューヨーク・ニューヨーク



パリスの内観



パリスのエッフェル塔

以上 4 つが私のラスベガスで印象に残ったことです。街全体がエンターテインメントで、歩くだけでも飽きない、映画の中にいるような感覚になる街です。今までラスベガスはカジノの町だと思っていましたが、想像以上に楽しめることが沢山ありました。皆さんもアメリカに訪れた際はラスベガスに行ってみてください！

<学校生活>

一月の中で一番大きな学校行事はキャンプに参加したことです。今回私が参加したキャンプはリーダーシップの育成を目的としたキャンプで、先生からの推薦をもらう必要がありました。幸いなことに推薦をもらうことができ、キャンプに参加することができました。キャンプでは、かなりシビリアなアクティビティがありました。このキャンプから学んだことはオープンマインドになり、自分の気持ちを明確に表現し、互いに理解することで多様性を認め合うことができるということです。日本では近年、グローバル化が進んでいますが人種のサラダボールと言われているアメリカに比べると多様性を受け入れる姿勢が低いのではと感じました。しかしながら本当の多様性は個人の性格、考え方からきています。思想や性格は個人の生まれ育った環境や言語、文化に大きく影響を受けますが、人それぞれがもっている客観的な事実ではなく主観的な面の違いを尊重し認めることが本当の多様性だと思います。その点では、日本にも様々な性格、思考を持った人がいるため、多様性を認め合うことは日本のグローバル化をさらに促進します。そのため、今回のキャンプで学んだことを日本に帰国後に広めていきたいです。



キャンプの友人と先生



キャンプをしたキャンプ小屋

また、最近では英語がうまくなったと友達に褒められることが増えて少し自信がつきました。キャンプを通して友人も一気に増え、非常に充実しています！正直 今できたアメリカの友人ともう一度日本に帰国後に会えるかというところかなり難しいです。しかし、一度しか出会うことができないからこそ、その一回をより濃いものにできると思います。一期一会は少し悲しいように感じますが、一つ一つの出会いは私を成長させてくれます。留学生活もあと4か月を切っていますが、残りも全力で楽しみ、学び、成長していきたいです！

最後までお読みいただきありがとうございます。それではまた来月の留学だよりでお会いしましょう！ See you next month!☺

吉田